



KKR東海病院

とうかい

国家公務員共済組合連合会 東海病院
〒464-8512
名古屋市千種区千代田橋1-1-1
TEL 052-711-6131(代) FAX 052-712-0052
http://www.toukaihosp.jp/

第63号 2019.1
編集責任者 丸田真也(副院長)

東海病院憲章

東海病院は公共的な保健・医療・福祉サービスを行う施設であり、地域の人々の健康と福祉に資することを目的とする。

私たちのKoKoRo(心)構え

3つのS 誠意…Sincerity
奉仕…Service
考動…Science

東海病院職員は病院憲章の目的を達成するため、誠意・奉仕・考動の3つのSを大切に、地域医療機関との緊密な連携に努め、限りない人間愛と責任をもって、地域の人々に保健・医療・福祉サービスを提供します。

2019年 年頭挨拶

病院長 山本 英夫 ……1

病診連携症例検討会より ①

10月の病診連携システム勉強会

副院長 地域連携室長 丸田 真也…2

病診連携症例検討会より ②

進行再発肺癌に対するハイパーサーミアを施行した2例

外科統括部長 山本 竜義…2

リウマチ科の新設について

診療部長 整形外科部長 牧野 仁美…3

東海病院 部門紹介

～vol.8 内視鏡センター～…3

東海病院・名城病院共催

病診連携勉強会開催のお知らせ…4

診療と交通のご案内…4



東海病院
病院長 山本 英夫

あけまして、おめでとうございます。

皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は大変お世話になり、ありがとうございました。

平成最後の日本漢字能力検定による漢字は「災」となりましたが、去年は6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨、9月の北海道胆振東部地震や大型台風の相次ぐ上陸による被害など、例年になく自然災害が目立った年でした。このような豪雨や大型台風は、地球温暖化との関連性も指摘され新元号に変わる次の時代では益々自然災害への備えが必要となるのでしょうか。

さて、いよいよ今年10月、消費税率が10%に引き上げられますが、医療機関にとっての懸案事項である控除対象外消費税問題については、診療報酬による補填の配点方法の精緻化と定期的な検証、医療機器や建物などの特別償却の範囲の拡大で対応することが、昨年末決まりました。日医の横倉会長が「この2つによって、非課税制度においては（消費税問題は）解決された」と述べていますが、昨年7月まで診療報酬で一定程度補填されていると説明してきていた厚労省が、一転、一般病院や特定機能病院では実際には補填率が大きく下回っていた事実を公表したことは記憶に新しいところです。改定後の早い段階での補填状況の検証を望みたいと思います。

そして、「医師の働き方改革」では、2024年4月には、医師にも時間外労働の上限規制が適用され、勤務間インターバル（休息）と連続勤務時間の制限（当直明けの負担軽減）もセットで導入されそうです。医師の健康状態に留意し、初期研修医や専攻医が十分な研修時間を確保できるよう、そして地域医療提供体制の維持も考慮しつつ、現在詰め議論がなされているところです。この件も、病院経営への影響なしとはいかない問題です。

当院は、昨年の診療報酬・介護報酬同時改定の際、急性期一般入院基本料1、介護基本報酬の基本型とし、地域包括ケア病棟入院料は9月から1としてまいりました。急性期一般入院基本料は、今年1月から2に変更してまいりますが、今後も、この地域の急性期医療—いわゆる「攻める医療」—を可能な限り担いつつ、2040年にかけて増加していく高齢者の方々が健康で人間らしく長生きできるように、「支える医療」と「介護」業務に従事し、地域の保健・医療・福祉に貢献していきたいと思っております。

本年も、何卒ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

最後に皆様のご多幸とご発展を祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

KKRとは?

国家公務員共済組合連合会の
頭文字をとった略称です。

10月の病診連携システム勉強会

副院長 地域連携室長 丸田 真也

昨年10月27日(土)の午後、KKRホテル名古屋で名城病院と合同の病診連携システム症例検討会を開催いたしました。今回は3題の講演がありました。最初は名城病院消化器内科、林和彦部長から「DDA治療によるC型肝炎ウイルス排除後の問題点と対策」の話がありました。C型肝炎は約8週間の内服で治る時代となりましたが、その後も発癌のリスクがあるとのことでした。次に当院外科、山本竜義部長から「進行再発膀胱癌に温熱化学療法を施行した2例」の発表がありました。温熱療法と化学療法を組み合わせることにより、抗癌剤を減量しても治療効果が得られるとのことでした。最後に塩之谷整形外科、塩之谷香先生より「知っているようで知らない足と靴と爪の話」のご講演がありました。先生は数少ない足の外科医です。巻き爪と陥入爪の違いや治療法、良い靴とはどのようなものかなどわかりやすくご講演いただきました。

当日は、19名の病診連携登録医の先生方にご参加頂き、東海病院職員25名、名城病院職員43名と合わせて87名の参加がありました。この後懇親会を行い、多くの登録医の先生方と歓談することができました。

次回は2月16日(土)にルブラ王山で予定しております。皆さまのご参加をお待ちしております。

進行再発膀胱癌に対するハイパーサーミアを施行した2例

外科統括部長 山本 竜義

ハイパーサーミアとは.....

ハイパーサーミア（温熱療法）は化学療法や放射線療法との併用により相乗的な効果が期待できる癌治療法であり、保険適用となっています。ハイパーサーミアはサーモトロン-RF8 EX Editionを用い、8MHzの高周波を流し身体内部に高周波電流が流れ、そのジュール熱により患部の温度を上昇させる仕組みです。

がん組織を30～60分、42～43℃以上に加温します。

東海病院での癌治療.....

化学療法はある期間を過ぎると、薬剤耐性のため効かなくなってきました。この状態の患者さんへの新たな治療として2016年9月よりハイパーサーミアを導入しました。現在ではその有効性から化学療法開始時からハイパーサーミア療法を併用する症例もあります。

どうして癌にきくのか.....

42-43°の加温のみでも時間とともに癌細胞の生存率が低下します。

さらに加温による抗癌剤の細胞膜透過性亢進、DNA損傷からの回復阻害等により、抗がん剤の効果を増強させることができます。

膀胱で化学療法にハイパーサーミアを併用した2症例.....

症例1. 60歳代、男性。膀胱癌にて亜全胃温存膀胱十二指腸切除術(R0,Stage I)を施行。術後9ヶ月で局所再発。ハイパーサーミアを併用した低用量化学療法（通常投与量の約40%）を施行し約13カ月腫瘍増大は認めませんでした。

症例2. 80歳代、男性。膀胱癌と診断。左副腎転移部から空腸、左腎静脈周囲まで癌の浸潤あり、胃空腸バイパス手術を施行。術後抗癌剤治療を施行するも癌の進行を認め、術後9ヶ月目にハイパーサーミアを併用した低用量化学療法（全身衰弱のため通常投与量の約30%）を開始し腫瘍の増大は認めなくなりました。

化学療法にハイパーサーミアを併用することにより、効果が得られた進行再発膀胱癌の2症例を報告しました。

症例1. 膀胱癌再発症例の経過

①S1(1コース) ②GEM+PTX(11コース,投与量60%) ③FOLFIRINOX(1コース,投与量50%)

症例1.

局所再発時	13ヶ月後

症例2. 進行膀胱癌症例の経過

S1 80mg/日、隔日投与、2週内服、2週休薬

症例2 経過

術後3カ月	術後9カ月	術後13カ月

リウマチ科の新設について

診療部長 整形外科部長 牧野 仁美

この度東海病院ではリウマチ科を標榜させていただくこととなりましたので、ご案内申し上げます。

リウマチ科が治療を担うリウマチ性疾患は、関節や筋肉に痛みを生じる疾病の総称です。関節リウマチはリウマチ性疾患の中でも患者数が多く、全国では70万人以上が罹患していると推定されています。当院では関節リウマチの診療を主に整形外科が担当しておりますが、現在150名以上の方が治療中で、疑い病名も含めると毎年新たに50名を超える方が受診されています。近年治療薬の進歩により、関節リウマチは「慢性」疾患から「治る」疾患へと変わってきました。早期に診断して治療を開始し、薬の効果を見極め、効果が不十分な場合にはすばやく増量や切り替えを行い、関節破壊を食い止める治療方針（Treat to Target）が選択されます。免疫機能を抑える薬剤を使用するため、感染症に対する注意や、高齢者の方では肝臓・腎臓への負担にも配慮が必要です。当院には日本リウマチ学会専門医2名（常勤1名、非常勤1名。専門医の診察をご希望の場合はご予約をお願いします）が在籍しており、平成30年6月に学会認定教育施設に登録されました。整形外科として外科的な対応も可能である利点を生かしつつ、個々の患者様の症状やご要望に応じたきめ細やかな治療を目指して参ります。

当院では年1回リウマチ性疾患をテーマとした「千代田橋カンファランス」を開催させて頂いております。毎回各分野の先端医療を担う講師をお招きしてレクチャーを行っておりますので、病診連携の先生、医療スタッフの皆様にもご参加賜りますよう併せてご案内申し上げます。

東海病院 部門紹介 ～vol.8 内視鏡センター～

内視鏡センターでは、午前中に胃カメラ、午後は大腸カメラやERCP・ESDなどの特殊検査を行っています。常時3並列で最新の内視鏡機器を取り揃え、消化器内科医5名、内視鏡技師6名を含む15名のスタッフで、一人一人の患者様が安全安楽に検査を受けて頂けるよう心掛けております。昨年は年間で8,543件の検査を行いました。

病診連携の先生方へ

胃カメラと大腸カメラのご予約は地域連携室で承っております。ご予約の当日に来院して頂き検査を受けて頂けます。紹介状とお薬手帳などの情報提供をお願い致します。

大腸カメラの場合、ご高齢の方や杖をご使用されている方など、お一人で洗腸剤を飲んだり頻回なトイレ歩行が困難な方は、洗腸剤を外来で飲用して頂くことが出来ません。外来に一度受診をして頂くか、ご予約の際にご連絡をお願い致します。日帰りもしくは1泊の入院で検査を受けて頂けます。また、ご家族が同席されたいなど初めから入院をご希望の方もご相談ください。ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。

検査待ちがなく、出来るだけご希望日に予約を取って頂けるように努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



東海病院・名城病院共催 病診連携勉強会開催のお知らせ

日 時：平成31年2月16日（土）15時30分～17時30分
 場 所：ホテルルブラ王山（名古屋市中千種区覚王山通8-18）
 （地下鉄東山線池下駅下車2番出口より徒歩3分）
 演 題：「手術前には筋肉と腸を鍛えましょう！」
 ～プレハビリテーションとシンバイオティクスの重要性について～ほか
 講 師：名古屋大学大学院医学系研究科外科周術期管理学講座教授 横山 幸浩先生ほか
 東海病院・名城病院医師から各1題症例発表あり
 単 位：日本医師会生涯教育認定講演会（参加証をお渡しします）
 取得単位：2単位
 担 当：地域連携室

診療と交通のご案内

診療科

内科

消化器	月～土	} 受付 8時30分～11時30分
循環器	月～土	
呼吸器	月・水	
肝臓	月	
糖尿病	金	
禁煙外来	水・木	

完全予約制

外科

消化器	月～土	} 受付 8時30分～11時30分
ヘルニア外来	第1・3・5土	
血管	金	受付 8時30分～11時00分
整形外科	月～土	受付 8時30分～11時00分
リウマチ科	月～土	受付 8時30分～11時00分
泌尿器科	月～土	受付 8時30分～11時30分
眼科	月～金	受付 8時30分～11時30分
脳神経外科	火・木	受付 8時30分～11時30分
皮膚科	木	受付 13時00分～14時00分

土曜日は、第1・3・5のみ診療を行っております。
 土曜日の診療は、当番医となります。
 ※平成30年12月1日から診療科を変更いたしました。

休 診 日 第2・4土曜日
 日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

所在地 〒464-8512 名古屋市中千種区千代田橋1-1-1
 電話 TEL 052-711-6131 FAX 052-712-0052
 アドレス <http://www.toukaihosp.jp/>

交 通 地下鉄・・名城線茶屋ヶ坂駅②番出口より約7分
 バス・・基幹バス汁谷下車約1分
 名鉄瀬戸線・・・大曾根駅下車 地下鉄名城線乗換 茶屋ヶ坂駅下車
 ゆとりーとライン・・砂田橋駅下車 地下鉄名城線乗換 茶屋ヶ坂駅下車
 ※一部送迎バスあり

